

平成 29 年度 第 1 回柿崎区地域協議会次第

日時：平成 29 年 4 月 28 日（金）午後 6 時 30 分

場所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協議事項

(1)地域活動支援事業の基本審査及び地域自治区の採択方針による審査、意見交換 … [資料No.1]

(2)自主的に審議する事項について

- ・頸北斎場の存在意義について … [資料No.2]
- ・柿崎区保育園にかかる課題と今後について

(3)地域の皆さんと地域協議会委員との懇談会について … [資料No.3]

5 報告事項

(1)市からの報告

- ・ふるさと納税について

6 その他

- ・第 2 回地域協議会（地域活動支援事業プレゼンテーション）の開催日について

日 時：平成 29 年 月 日（ ） 時 分～

会 場：

- ・第 3 回地域協議会（地域活動支援事業採択決定）の開催日について

日 時：平成 29 年 月 日（ ） 時 分～

会 場：

7 閉 会

平成29年度 地域活動支援事業提案事業一覧

新規 8件

継続 7件

受付順	事業の名称	団体等の名称	提案額(単位:千円)		事業内容の概要	基本審査	地域自治 区の採択 方針	プレゼン 実施
			事業費 千円未満 切上げ	補助希望額				
1	新規 柿崎写真コンテスト事業	柿崎写真コンテスト実行委員会	982	981	柿崎の良さを知ってもらおう手段の一つとして、写真コンテストを開催し、写真が伝える地域の魅力を今後の柿崎の宣伝等に使い、最終的には移住に結びつけるもの。			
2	6回目 黒川・黒岩ふれあい事業	16ピース	1,429	1,000	黒川小学校の閉校を機に、黒川・黒岩地域に交流の場と活力を生み出すため、旧黒川小学校のグラウンドの整備、ふれあい祭り、そば打ちなどを実施するもの。			
3	4回目 密蔵院周辺の整備および 米山登山道古道整備事業	米山と密蔵院を 結ぶふれあい パークの会	235	187	密蔵院周辺と米山登山道古道の草刈りや倒木除去、案内看板等の整備のほか、今回あらたに「古道を歩く会」を実施し、県内外からより多くの観光客の来訪を期待するもの。			
4	新規 健康づくり、仲間づくり (輪投げ用具購入) 事業	柿崎区老人クラブ連合会	316	315	公認の輪投げ用具を整備することで、効率の良い練習を行うことによる競技レベルの向上と競技人口の増加を図り、地域住民の体力づくりや健康増進に寄与するもの。			
5	新規 年末おたのしみ会並びに 関連インリーダー・ジュニア リーダー・シニア リーダー養成事業	柿崎子ども会連 合会	802	756	年齢に応じたインリーダー・ジュニアリーダー・シニアリーダーを養成し、その集大成として、年末お楽しみ会を通じて子どもの健全育成に寄与するもの。			
6	新規 自走式草刈り機導入による 地域美化運動の推進	あけぼの美化推 進クラブ	650	616	自走式草刈り機を導入し、高齢者でも安全・安心に作業を実施することができ、また少人数で対応が可能となり、草刈り以外の美化活動に人員を向けられることから、地域環境の美化、環境保全や景観維持を図ることでさらに地域コミュニティを充実させ、連帯感を深めるもの。			
7	新規 キンボール競技普及活動 事業	かきざきスポー ツクラブ	226	226	近年、少年・少女のスポーツ人口の減少が著しく、運動をしない子ども・児童が多くなっていることから、キンボールの楽しさを体感してもらうことにより、ジュニアスポーツ人口の増加とスポーツ振興を図るもの。			
8	新規 地域の古い映像発掘と地 域のPR映像を作成し発 信する事業	柿崎シネマ倶楽 部	608	588	地域の歴史や伝統、生活文化の映像記録を作成し、また、地域に眠っている映像の発掘・保存活動と映像記録の上映会を開催し、次世代に伝統、食文化の伝承をするとともに、地域や世界に向けた情報発信による地域間交流を図るもの。			
9	8回目 ドーム周辺花いっぱい事 業	花うえの会	350	280	かきざきドーム周辺の花壇に花を植えてきれいにし、訪れる人たちの心のオアシスとなる施設にするとともに、他の花うえグループとの交流を通じて植栽技術を高めるもの。			
10	6回目 かきざき湖八重桜広場(愛 称) (柿崎川ダム第三土捨 場)の八重桜の植樹及び電 気柵設置事業	ガンバ米山	494	394	かきざき湖八重桜広場の八重桜と広場の側溝がウサギ・シカ・イノシシによる獣害がひどいため、電気柵を設置し、被害防止を図るもの。			
11	4回目 親子教養講座事業	上越市立柿崎中 学校PTA	327	261	ドキュメンタリー映画の鑑賞や監督の講演をとおして、生徒の「働くこと」に対する考え方や「生き方」についての考え方を深め、保護者や地域の方々と感動を共有し、今後の教育活動の充実を図るもの。			
12	8回目 柿崎夕日フェスティバル 事業	柿崎夕日フェス ティバル実行委 員会	744	594	柿崎区の観光資源を生かし、住民に本格的なフラダンスなどを提供し楽しんでもらうことにより、地域の活性化を図るもの。			
13	新規 柿崎区青少年育成会議 「柿崎総ぐるみあいさつ 1,000人大運動」事業	柿崎区青少年育 成会議	742	730	毎年「柿崎総ぐるみあいさつ1,000人大運動」を展開しており、地域活動支援事業で保育園、学校、民間事業者等で使用する用具を購入し、民間事業者等にも運動の輪を広げ、正に柿崎総ぐるみとなるよう展開を図るもの。			
14	8回目 柿崎まちづくりカレン ダー作製事業	柿崎まちづくり 振興会	779	490	柿崎区内における各行事の参加意欲を高め、一体化した地域の醸成を図るため、行政や関係機関の主な行事、地区及び町内会の主な行事を記載したカレンダーを作製するもの。			
15	新規 柿崎の地域食材を用いた 商品開発と食育推進事業	柿崎恵方巻実行 委員会	515	484	地元にある食材・素材への関心を高め、柿崎食材への郷土愛を醸成し、魅力ある食資源を未来に残していくことにつながるもの。			
計			9,199	7,902	予算額 7,200千円			

平成29年5月 日

上越市長 村山秀幸様

柿崎区地域協議会

会長 長井洋一

頸北斎場の存在意義に関する意見書（案）

日ごろから、柿崎区の地域振興にご尽力いただき感謝申し上げます。

柿崎区地域協議会では、頸北斎場の存在意義について、自主的審議を重ね下記のとおり意見を取りまとめましたので提出いたします。

頸北斎場については、適正な施設管理の下で更新時期を迎えた後の措置について、本協議会で取りまとめた意見を十分に反映していただくようお願い申し上げます。

記

1 頸北斎場の存在意義について

柿崎区をはじめとする頸北地域においては、火葬中に「寺参り」を行う葬儀慣習があり、斎場の位置については斎場までの移動時間が重要となっています。

頸北斎場は頸北地域における葬儀に適した立地となっており、今後、頸北斎場が更新時期を迎えるにあたって、存続を前提とした検討を求めます。

2 適正な維持管理による施設の長期維持について

斎場施設の使用期間は使用頻度と維持管理状況により左右されますが、頸北斎場の稼働年数は25年であり、適正に維持管理が行われています。

今後も火葬炉設備の適切な維持管理を行い、斎場施設（建築物）と同時期まで使用できるよう維持管理を求めます。

柿崎区地域協議会自主的審議事項「頸北斎場の存在意義について」審議内容

1 頸北斎場の存在意義について

斎場は、ただ単に遺体を火葬しているのではなく、遺族にとっては故人と最後のお別れを行う「告別行為」、遺体が火葬炉に納まるのを見届ける「見送り行為」、火葬後の焼骨を確認し、遺族が拾い骨壺に収める「拾骨行為」などの葬送行為を通して、故人の死を受容する場になっています。遺族の心情を思うとき、作業の効率化、経費削減が優先という考えは馴染みません。中山間地域の住民サービスを重視し、地域の“つながり”を重点戦略としている上越市がとる施策ではないはずです。

当地域協議会が行った事例調査によれば、斎場の位置については、斎場までの時間が最優先となります。特に頸北地域においては、火葬中に「寺参り」を行う習慣があり、葬儀場から斎場までの移動時間は30～40分以内が求められます。

当地域協議会では、実際に上越斎場までの移動時間を測定しましたが、柿崎区中心部から上越斎場までの移動時間は44分となりました。[添付資料1]
柿崎区中山間部や吉川区では、さらに移動時間が長くなります。したがって、頸北斎場が更新時期を迎えるにあたっても存続を前提にした検討が必要です。

さらに、大規模災害時には上越斎場が被害を受け使用不能となることも想定され、市の面積が広く、冬期間には降雪のある当市で、火葬場が1か所では火葬が不可能となる恐れもあります。

災害時のリスク分散を考慮し、市内で複数の斎場を設置することにより、大規模災害に備える必要があります。

2 適正な維持管理による施設の長期維持について

頸北斎場は、平成4年に竣工し使用を開始しました。稼働年数は25年となっています。火葬場施設（建築物）の耐用年数は税法では50年となっています。市の調査によると斎場施設（建築物）の使用期間は平均36.8年ですが、最長では94年となっており、使用頻度と維持管理状況により左右されます。

また、火葬炉設備の耐用年数は税法では16年となっています。頸北斎場は火葬炉を建設したメーカーが建設当時から維持管理を行っており、メーカーの見解では適正に維持管理することで、30～40年程度は維持が可能とのことです。

頸北斎場の稼働率は、平成27年度で26.2%と低く、税法の耐用年数16年と稼働率を考慮すれば61.1年（ $16/0.262$ 年）の耐用年数となります。

当地域協議会では現地視察を行いました。施設は適正に維持管理が行われており、今後5～15年は使用可能と判断できます。

今後も火葬炉設備の適切な維持管理を行い、斎場施設（建築物）と同時期まで使用すべきと考えます。

3 火葬経費単価を減らすための火葬回数の増加について

今後は、死亡者数の増加とともに、火葬数の増加が見込まれます。頸北斎場の火葬開始時間は午前10時30分で、火葬回数は1日4回です。上越斎場と比較すると、火葬開始時間は遅く、火葬回数も少なくなっています。設備は火葬炉が3基、待合室が2室整備されており、火葬開始時間の繰上げや火葬間隔時間の短縮を図り、現状の維持費で火葬回数を増やす検討をすべきと考えます。[添付資料2]

平成27年度実績によると動物火葬数は422件と人物火葬数377件を超えており、維持費を押し上げる要因となっています。動物火葬については、効率的な運用を図るための予約制や使用料を引上げる等の見直しを行い、歳入増加と経費削減の検討をすべきと考えます。

また、地元を離れた方々の火葬受入れや広域からの受入れ等を検討すべきと考えます。

4 上越市内の斎場数と配置について

当市の面積は、973 km²で全国の市の中で24番となっています。全国で面積の広い14市を調査しましたが、斎場が1か所の市は日光市のみでした。日光市は山間地域が多く住家は一定の地域に集中しています。当市も山間地域が多いですが、人口が多く住民は広い地域に住んでいます。冬期間に降雪があることも考慮すれば、複数の斎場を設置すべきと考えます。[添付資料3]

さらに、当市において葬儀場から火葬場までの移動時間を30～40分以内とした場合に、時間内に移動可能な火葬場数を検討すれば最低でも3か所必要となり、現在の上越斎場、頸北斎場、経塚斎場は適正な配置と考えます。[添付資料4]

火葬場の集約には新規火葬場の建設位置とともに道路環境の整備が必要となります。現在、大浦安地域には火葬場は無く地区中心部からの移動時間は40分以上となっています。上越魚沼地域振興快速道路の早期完成を急ぐ必要があります。

測定日時:2017年2月6日

頸北斎場からの距離・時間

	距離 km	時間 min
柿崎区総合事務所	0	0
頸北斎場	3	6
頸北斎場出口国道	4	9
旭町十文字	5	13
新貝十文字	7	15
上下浜十文字	10	19
JAセレモニーセンター	11	21
大潟駅前十文字	13	24
犀潟駅前十文字	17	30
直江津港入口	20	37
三ツ屋十文字	23	41
下源入交差点	24	47
石橋十文字	26	52
上越斎場入口	28	56
上越斎場	29	57

※ 測定はマイクロバスを使用。概ね半数の信号機が赤信号として測定。

- ① 柿崎区中心部(旭町交差点)から上越斎場までの移動時間は44分(57-13=44分)
移動距離は24km(29-5=24km)
- ② 頸北斎場から40分以内の地点は三ツ屋十文字となる。(41-6=35分)
移動距離は20km(23-3=20km)
- ③ 上越斎場から40分以内の地点は上下浜十文字となる。(57-19=38分)
移動距離は19km(29-10=19km)
- ⑤ 柿崎区、吉川区のほぼ全域で上越斎場までの移動時間が40分以上となる。

現状
 頸北斎場の場合火葬時間は10:30 11:30
 14:00 15:00 の4回行われる

移動時間が20分の場合いずれの時間でも
 火葬が可能となる。

移動時間が20分の場合、火葬時間内に
 寺参りが可能となる。

将来
 火葬開始時間を10:00に繰り上げ、火葬
 間隔時間を1時間とする。
 火葬は10:00 11:00 12:00 13:00
 14:00 15:00の6回が可能となる。

8:30
9:00
10:00
火葬時間 10:30
11:00
火葬時間 11:30
12:00
13:00
火葬時間 14:00
火葬時間 15:00
16:00
17:00
18:00
19:00
20:00

葬儀開始 9:10

葬儀場	葬儀	60
	移動	20
	告別	10
火葬場	火葬 寺参り	90
	収骨	20
	移動	20
お寺	初七日法要	30
	移動	10
お斎会場	お斎	120

葬儀場	葬儀	60
	移動	20
	告別	10
火葬場	火葬 寺参り	90
	収骨	20
	移動	20
お寺	初七日法要	30
	移動	10
お斎会場	お斎	120

葬儀場	葬儀	60
	移動	20
	告別	10
火葬場	火葬 寺参り	90
	収骨	20
	移動	20
お寺	初七日法要	30
	移動	10
お斎会場	お斎	120

葬儀開始 13:40

葬儀場	葬儀	60
	移動	20
	告別	10
火葬場	火葬 寺参り	90
	収骨	20
	移動	20
お寺	初七日法要	30
	移動	10
お斎会場	お斎	120

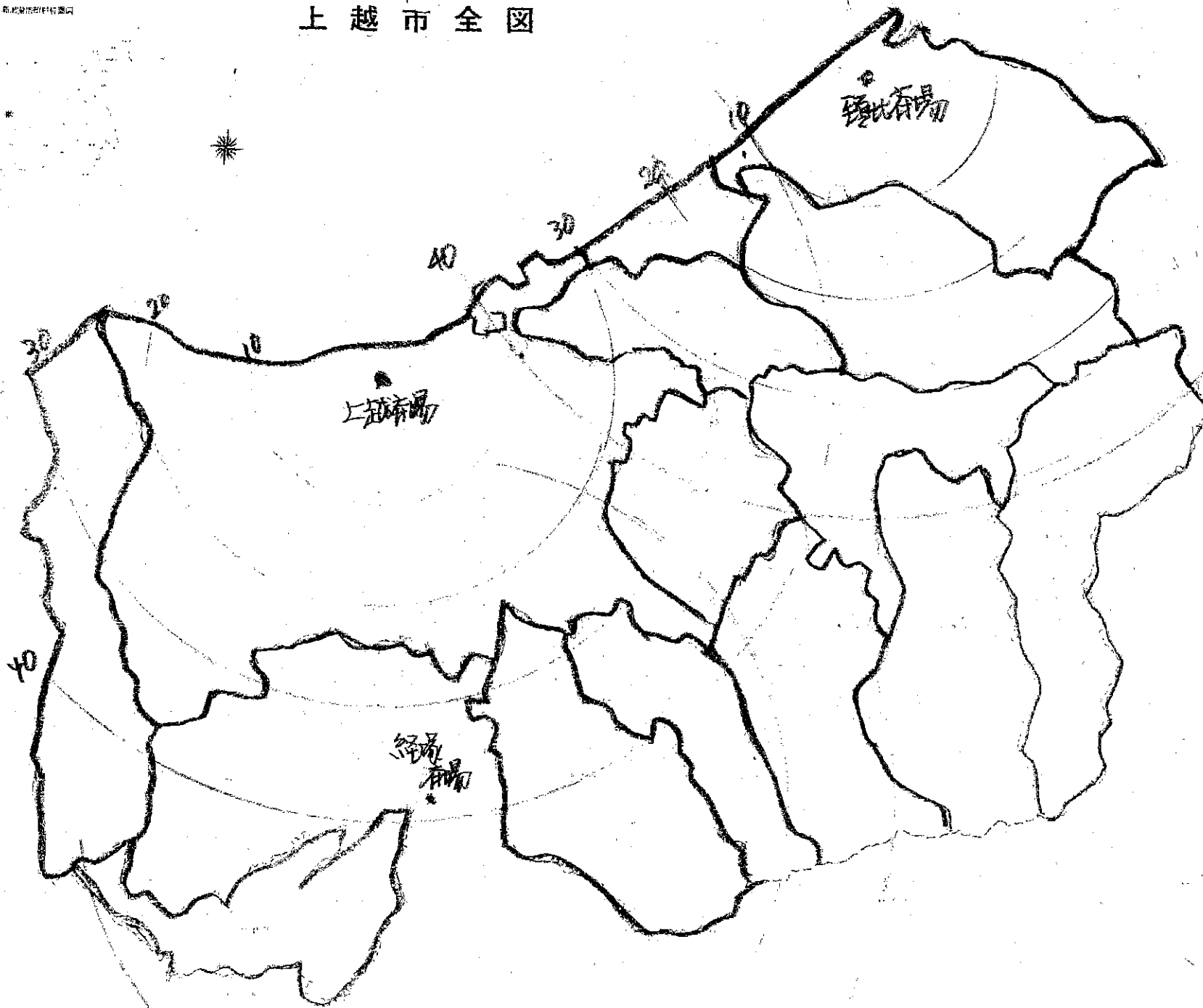
2017年2月26日

斎場一覧

面積順	市	斎場数	人口		面積		備考
			人口	人/斎場数	km ²	km ² /数	
1	高山市	3	88,000	29,333	2,177	726	市内の大半は山岳地域
2	浜松市	7	797,000	113,857	1,558	223	
3	日光市	1	82,000	82,000	1,449	1,449	市内の大半は山岳地域
4	北見市	3	120,000	40,000	1,427	476	
5	静岡市	4	701,000	175,250	1,411	353	
6	釧路市	3	175,000	58,333	1,362	454	
7	鶴岡市	2	130,000	65,000	1,311	656	
8	宮古市	5	56,000	11,200	1,259	252	
9	一関市	2	120,000	60,000	1,256	628	東西2か所で市内をフォロー
10	庄原市	3	36,000	12,000	1,246	415	火葬場7→3
11	富山市	4	418,000	104,500	1,241	310	
12	いわき市	2	325,000	162,500	1,232	616	
13	由利本庄市	4	79,000	19,750	1,209	302	
14	村上市	3	62,000	20,667	1,174	391	
24	上越市	2	195,000	97,500	973	487	
25	魚沼市	2	37,000	18,500	946	473	
新潟県	新潟市	5	807,000	161,400	726	145	
	長岡市	6	273,000	45,500	891	149	
	糸魚川市	2	44,000	22,000	746	373	
	佐渡市	5	56,000	11,200	856	171	
長野県	長野市	3	375,000	125,000	835	278	
	上田市	2	157,000	78,500	552	276	
富山県	南砺市	4	51,000	12,750	669	167	
北海道	函館市	4	266,000	66,500	677	169	
岐阜県	中津川市	2	78,000	39,000	676	338	火葬場4→2

- ① 上越市は市面積は全国の24番目となっている。
面積の多い市で火葬場が1か所の市は全国で1市(日光市)
日光市は山岳地域を多く含み人家は一定の地域に集中している。
全国トップの高山市は昨年新火葬場の建設について検討委員会を設置し検討を開始している。
一関市は東西2か所に火葬場があり大半をフォローしている。
- ② 庄原市、中津川市は合併後、旧火葬場配置を見直し再配置している。

上越市全図



地域の皆さんと地域協議会委員との懇談会（案）

1 懇談会名称

「地域の皆さんと地域協議会委員との懇談会」

2 開催日程

柿崎地区	6月11日（日）	柿崎地区公民館
正直地区	6月18日（日）	柿崎体育館
七ヶ地区	6月24日（土）	七ヶ地区コミュニティセンター
川西地区	7月9日（日）	柿崎地区公民館川西分館
下黒川地区	7月15日（土）	柿崎地区公民館下黒川分館
黒川・黒岩地区	7月23日（日）	柿崎地区公民館黒川分館

※ 開催時間は、全地区 10:00～11:30

3 周知方法

- ・町内会にチラシを回覧する。
- ・町内会長から各団体の長へ声掛けをしていただく。
- ・小・中学校PTA会長、保育園保護者会長へ案内を送付する。

4 内容

①懇談会テーマ

- ・事前に町内会長から懇談会のテーマや地域の課題を出してもらい、地区ごとに懇談会のテーマを設定する。

②司会担当

- ・柿崎地区 【白井委員】
- ・正直地区 【楡井委員】
- ・七ヶ地区 【薄波委員】
- ・川西地区 【片桐委員】
- ・下黒川地区 【吉井委員】
- ・黒川・黒岩地区 【湯本委員】

③出席者

- ・地域協議会委員・・・全員
- ・柿崎区総合事務所・・・事務局

④保育ルームを設置

- ・チラシで周知し、事前申し込みとする。